

令和7年度（2025年度）中学校部活動の地域移行に係るコーディネーター等研修会

参加者の声

アンケートにおいて、参加者のみなさまからたくさんのお声をいただきました。

- 先進地の事例は、いつも驚くばかりです。やはり、熱意が必要であると感じました。
- 講師の片野様の熱量に感銘を受けると共に町の生徒のために何ができるだろうかと、考えながらお話しを拝聴していました。ワークショップでは、グループ内で同様の思いが共有でき、また、情報交換ができました。地域全体を巻き込んだ取り組みが不可欠と感じたところです。
- 新しいものを生み出すエネルギーを感じました。目の前の現実をしっかり受け止め、着実に進めていこう思います。
- 改めて地域展開の困難さを感じましたが、前向きに考えることが将来につながると思います。
- スポーツによる地域振興という大きなビジョンを持って取り組まれていることがとても印象的でした。スポーツでどんな子供を育てたいかという目標を持つことの大切さを改めて感じました。
- 講演では、福知山の実践から新たな視点を得ることができた。民間の視点と共に学校現場を知る職員の視点を合わせながらの取組は地域全体のメリットだと感じた。
- なかなか進まない現状がある地域にとっては、一步を踏み出すことの大切さが伝わったのではないかと思います。

●県下の自治体の進み具合に差がある中での研修会内容の決定は難しいとは思いますが、今、求めている情報は、地域展開を実現するまでの課題の共有であり、解決に向けた糸口を探すことです。

●コーディネーターの連携の場を設定してほしいです。それぞれの悩み事は多く自己解決できる場、課題解決できる場が定期的にあれば助かります。皆さんとも苦労されています。それぞれの立場での悩み事が軽減できる研修会、コーディネーター会議であってほしいと願っています。年に一回ではなく、回を重ねる必要があると思います。同規模の市町村でのワークショップ、コーディネーター同士でのワークショップなどグループピッングも変えながら回を重ねると自然と横のつながりが深まるのでは？と勝手ながら考えた次第です。熊本県中学校部活動地域移行が子どもたちにとってより良いものになることを願っています！

【研修会を終えて（県教育委員会から）】

たくさんのご意見、ご感想ありがとうございました。担当者やコーディネーターのみなさまが求める研修となるよう、今回の参加者のみなさまの声や各調査、ヒアリング等から研修内容を検討していきます。今回は、これまで取り組んできただいた内容や状況等を考慮して、班分けを行っています。今後も、様々な視点を考慮しながら、参加された方々の交流の機会をもてるよう努めます。

